

「電子書籍販売ストア」アプリシステムの 開発事例とシステム提供のご案内

情報センター出版局 取締役 関 裕志 様

&

光和コンピューター 専務取締役 寺川 光男

製品企画部 宮原 利之

2012年6月21日

第27回<光和セミナー>

1. ご案内の内容

情報センター出版局様の歴史

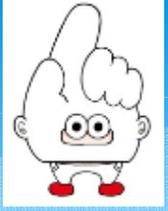
YUBISASHI製品の実績

YUBISASHIビューワ・YUBISASHIリーダーを利用した書籍アプリのご案内

電子書籍カタログサイト『YUBISASHI BOOKS』のご案内

ストアアプリシステムのご案内

2. 会社概要



商号	株式会社 情報センター出版局
創業 設立	1978年2月 1990年3月
本社所在地	〒160-0004 東京都四ツ谷2-1
代表者	代表取締役社長 田村 隆英
資本金	3,000万円
事業の内容	一般書籍の企画出版および販売、 出版ソフトの企画プロデュース
グループ会社	株式会社 エビデンスコーポレーション 株式会社 エビデンス・ジャパン

3. 情報センター出版局様の歴史

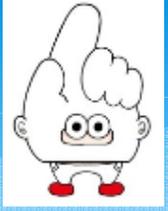


- 1978年2月 (株)情報センターの書籍出版部門として出版局開設
- 1993年3月 「旅の指さし会話帳」書籍版シリーズ販売開始
①タイ②インドネシア③香港の3タイトルより発売、
2012年6月現在、70以上の国と地域で250を超えるタイトル販売中
- 1999年8月 書籍のデジタル化研究開発を開始
「旅の指さし会話帳」シリーズの**パソコン版・DL版・iPod版** 順次発売
- 2006年6月 任天堂株式会社 **Nintendo DSソフト**「旅の指さし会話帳」シリーズ発売
TAMシステム搭載(タイ語・中国語・韓国語・ドイツ語・アメリカ英語)
- 2006年8月 経営革新計画承認(東京都)、多言語データベース及びサーバー構築
- 2008年6月 **NEC・SHARP携帯電話**向け、多言語コンテンツ・データの提供開始
(アメリカ英語・中国語)
- 2008年7月 電子出版協会:電子出版アワード「**パッケージ・コンテンツ賞**」受賞
- 2008年8月 **CASIO電子辞書・SHARP電子辞書**向け多言語コンテンツ・データの提供開始
(アメリカ英語・中国語・韓国語含め9言語)
- 2009年7月 「旅の指さし会話帳」シリーズ**iPhone版**を国内・**海外**にて販売開始
- 2010年3月 「旅の指さし会話帳」書籍版シリーズ累計販売数**400万部**突破
- 2010年5月 「旅の指さし会話帳」シリーズ **KOKUYO携帯端末機 memoribo LISNY版**を国内にて販売開始
- 2010年5月 「旅の指さし会話帳」シリーズ**Android版**を国内・**海外**にて販売開始
- 2011年4月 「旅の指さし会話帳」シリーズ**iPhone版**国内・**海外**にて100万ダウンロード突破
- 2011年7月 YUBISASHIビューワ、YUBISASHIリーダー開発・販売
- 2012年7月 電子書籍販売システム・アプリYUBISASHI BOOKSリリース

ノンフィクションを中心として、
従来にない独自の価値観を持った書籍を刊行しつづける

- 星野博美『転がる香港に苔は生えない』(第32回大宅賞受賞)
- 小林英樹『ゴッホの遺言』(第53回日本推理作家協会賞受賞)
- 城戸久枝著『あの戦争から遠く離れて』(第39回大宅賞、
第30回講談社ノンフィクション賞、黒田清J C J新人賞受賞)

4. YUBISASHI製品の実績



<書籍出版>

- ◆シリーズ刊行点数250タイトル以上
- ◆販売累計450万部突破
- ◆世界70言語以上をカバー

<スマートフォン・タブレット版アプリ>

- ◆配信開始から2年半でトータル250万ダウンロード達成（無料アプリ含む）
- ◆対応デバイス：iPhone/iPad、Android phone/Android tab、Windows Phone
- ◆販売マーケット：AppStore(Apple)、GooglePlay(Google社)、各国キャリア

運営のアプリ・マーケット

- ◆2010年旅行カテゴリ有料アプリ売上第2位

（アップルAppStore「YUBISASHI touch&talk 韓国」）

- ◆グローバルマーケット展開

日本語ユーザ版に加え、海外ユーザ版（英語・中国語・韓国語・タイ語・台湾語・フランス語）タイトルも配信

<その他>

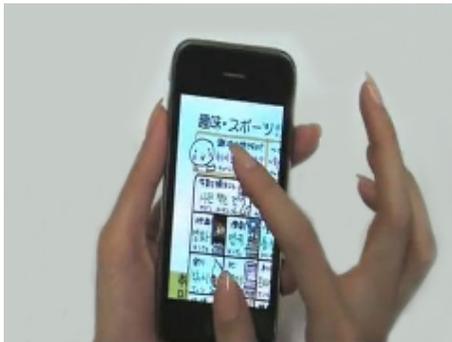
- ◆NintendoDSソフト：5タイトル累計55万本強
- ◆電子辞書：Casio、SHARP、Canonトータル販売数430万本超



5. YUBISASHIビューワ・YUBISASHIリーダーを利用した書籍アプリのご案内



【YUBISASHIビューワ】



『音』と『画像』と『文字』を組み込んだ
プログラム(アプリ化)



【YUBISASHIリーダー】



テキストとリーダーで横組みにも縦組みにも
出来るプログラム(アプリ化)



6. 電子書籍カタログサイト『YUBISASHI BOOKS』の必要



●ジャンル別の本棚が無い

iPhone/iPad向け指さしリーダー書籍は、アップル社AppStore、Android端末向け書籍は、グーグル社GooglePlayで発売されますが、これらのマーケットはありとあらゆるアプリが販売されています。ジャンル別の『本』が欲しい人が訪れても、ジャンル別の棚が無いためにお目当てのものに行き着くのに読者は相当な苦勞を強いられるのが現状です。

●電子書籍マーケットには本屋の感覚が無い

現在の電子書籍マーケットには、我々がリアルに慣れ親しんできた日本の本屋の感覚はありません。新刊本コーナーや平積み台、“本屋の習慣”といったルールがない販売方法なので、特に中高年読者には、電子端末で本を読もうと思いついてもきっかけがつかめない現状になっています。

●販売マーケットで商品が埋もれないために。

図書目録のようなカタログサイト『YUBISASHI BOOKS』オープン

当社では、YUBISASHIビューワ、YUBISASHIリーダー書籍の読者のためのカタログサイト『YUBISASHI BOOKS』『YUBISASHI Travel』をオープンします。このサイトは、出版社の図書目録を見ながら、「これ読んでみようか」と思う感じ、あるいはお店の人に「こんな本ありますか？」と聞いたりする感じ……などなどの本屋さんへ訪れる感じを読者に提供します。

7. ストアアプリシステムのご案内

1. 開発背景

現在、AppStoreでは、電子書籍の単品販売が制限されており、AppStoreにIn App Purchaseと呼ばれるアプリ内課金機能を利用することが推奨されております。

※In App Purchase内のアイテム登録数上限は3,000とされています。

当社では、この機能を搭載したモールアプリを開発し、第一弾としてエビデンスジャパン社様に共同事業化モデルとしてシステムをご提供する事としています。

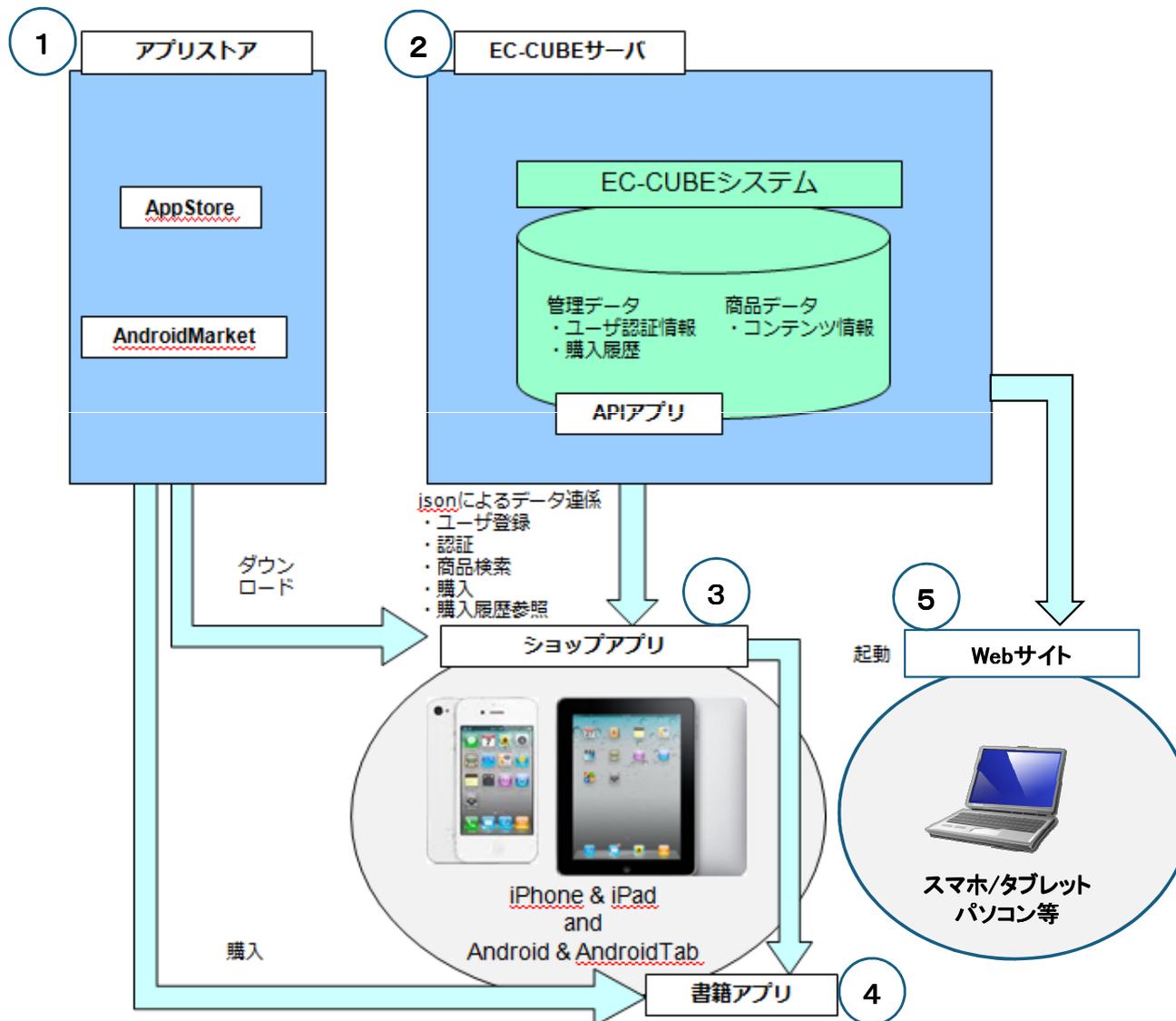
2. システムの概要

・シリーズ化されている電子書籍をアプリストア上でばらばらに扱うのではなく、ショップアプリを通じて、一覧、検索が可能なようにします。

3. クライアントアプリとビューワアプリの連携について

・単独で動作する書籍アプリ: アプリそのものを起動する方式と、ビューワー、コンテンツ分離型、クライアントアプリからビューワーを起動し、書籍コンテンツを閲覧する方式とします。

8. ストアアプリシステム全体像



①アプリストア

- ・ここへ書籍アプリを登録する。
- ・ショップアプリから表示される。

②EC-CUBEシステム及びAPIアプリ

- ・ショップアプリの問合せに対して書籍情報や購入情報を応答する。
- ・コンテンツダウンロード要求に対しショップアプリへのダウンロードを行う。

③ショップアプリ

- ・アプリストアよりスマートフォンにダウンロードされ、書籍表示、検索、購入ページの立上げを行う。購入対象はアプリまたは、コンテンツとなる。
- ※コンテンツファイルの実態はEC-CUBEにあり、購入処理のみアプリストアで実施する。

④書籍アプリ

- ・スマートフォンにダウンロードされコンテンツを表示する。
- ・単独で動作するアプリもしくはダウンロードコンテンツに対応するビューワーに分類される。

⑤Webサイト

- ・Web上からストアへの誘導を行う。

9. 本システムの対応機種

●iPhone

iPhone4およびiPhone4S

●iPad

IPadおよびiPad2

●Android携帯

画面サイズ640 * 868 (これ以外の画面サイズについては拡大縮小および余白で対応)

OSバージョンは2.2以上

●Androidタブレット

画面サイズ10.1インチ

OSバージョンは3.x系

(REGZA Tablet: 東芝 / GALAXY Tab 10.1: サムスン / ICONIA TAB: acer / Eee Pad TF201: ASUS等)

●DRMについて

EC-CUBE側の認証において

- ・iPhone⇔iPadへの展開が可能
- ・Android⇔AndroidTabへの展開が可能

10. 最後に

ご清聴いただきありがとうございました。